

令和3年度常総市元気のみなもとスタートアップ補助金 審査結果

団体名	補助金名	申請金額	所管課	審査会評価	コメント
特定非営利活動法人 みらい倶楽部	特定非営利活動法人 みらい倶楽部補助金	279,540円	市民と共に考える課	B	<p>シニア世代の活躍の場の提供のみならず、幅広い世代を対象にしているうえ、活動も多岐にわたっており、地域コミュニティづくりやまちづくりに有意義な活動である。広く市民を対象としており、公益的な活動と思われることから、補助金の支出は適当と考える。</p> <p>シニアが地域発展のために活躍する場を提供することは社会情勢に適合しているし、地域コミュニティの活性化という公益性もある。しかし、法人活動が継続可能であるか不透明であることから、まずは会費等で賄える事業を行い法人としての実績を積み上げていただきたい。これらを考慮し、今年度は申請額の一部を補助金として交付し、実績を積み上げていただくことが適当と考える。</p> <p>高齢者が増加している現代において、このような先駆的な取組みは発展性がある。本事業に賛同する方は多いものと思われ、地域活性化において優先度は高いと考える。会費等も徴収しており、今後団体が自立していく見込みはあるものと推測する。少子高齢化時代に適合し、広く常総市民のためになっている事業と考えられることから、税金投入を行うべきと考える。</p> <p>環境美化や紙芝居等の事業は、市のイメージアップに加え、特に子どもたちの郷土愛の育成に寄与するものと期待する。在日外国人との交流事業は、特定の国籍に限らず様々な国籍の市民が交流できるよう拡充を目指して欲しい。おもちゃ病院事業は、スタートアップ時こそドクターの養成を必要とするが、自主運営による継続も期待でき、ニーズもあると思われる。ただし、一定の受益者負担は必要と考える。</p> <p>事業主体は任意の市民団体ではなく特定非営利活動法人であるため、本来であれば市補助金を頼らずとも団体運営・事業運営ができるだけの資金計画を持つべきと思慮する。しかしながら当該団体は結成直後であり、また当該事業も初動期であることから、団体及び事業の育成という点を考慮し、必要最小限の補助は必要と考える。</p> <p>活動内容が多岐にわたっているが、コロナ禍においての参加人数の見込みには再考の余地があると思われる。団体や事業の初動期の補助申請として備品・消耗品の支出割合が高いが、活動規模に見合った程度であるか疑問であり、精査が必要ではないかと考える。</p> <p>各事業とも、対象者が限定的であるように思う。また、補助金を交付することによる具体的効果の不透明であり、税金を投入すべきか疑問である。社会情勢等を考慮し、事業内容を再検討する必要があると考える。会費は徴収しているようであるが、参加費等の検討により、NPOとして自主運営できるよう努力していただきたい。</p> <p>コロナ禍において新たにボランティア活動を行う特定非営利活動法人の初動期支援に伴う補助金であり、活動内容から見ても補助金の支出は適切であると考えられる。しかし、市内の新規会員の獲得のためには、入会金や会費の見直しも必要ではないかと思われる。</p> <p>本事業の内容や目的から、広く市民に還元される活動であり、大切な取組みであると考えられる。また、高齢化が進むなか、シニア世代が社会貢献を通じて生きがいを見出しながら充実した生活を送れる環境を整備することは必要である。今後は「未来のまちづくり」のため事業の継続が出来るよう、市内会員の増員に努め、将来的には自主運営が可能となるよう期待したい。</p>